

別表 デジタルハザードマップ公開サービス業務委託に係る公募型プロポーザル評価項目

採点対象	分類	評価項目	評価の視点・基準	採点基準		配点	
1 次 審 査	A 組織	1 社会的取組	環境マネジメントシステムの導入、障がい者法定雇用率の達成、女性の活躍促進、ワーク・ライフ・バランスの推進等の取組件数	・取組件数	多いほど高得点	2	
	B 見積額等	1 見積額	ア 見積提案書A 適正な見積額が示されているか。 ※見積額(税込)が委託料上限額を超過している場合は失格とします。 ※千円未満切り捨てとします。	・総額12,000千円の範囲内であること。 ・上限額を超過した場合失格とする。	低額なほど高得点	10	
			イ 見積提案書B 適正な見積額(翌年度以降の維持管理費)が示されているか。 ※見積額(税込)が委託料上限額を超過している場合は失格とします。 ※千円未満切り捨てとします。	・総額400千円/年額の範囲内であること。 ・上限額を超過した場合失格とする。	低額なほど高得点	10	
	C 業務の実施体制	1 実施方針	業務目的や業務を十分に理解した提案内容になっているか。	・仕様書による指示項目の実装	仕様書による指示通りか	5	
			2 遂行能力	ア ハザードマップ及びGISの専門知識と十分な業務経験を有した管理技術者(保有資格・経験年数・実績など)の配置	・仕様書による指示項目の実装 ・想定する体制(当該業務のみに専任するか、その他業務と管理技術者業務を兼務するか) ・失格:経験なし	・当該業務に専任する場合や実績豊富なほど高得点 ・専門性の高い資格を所有しているか	4
			イ ハザードマップ及びGISの専門知識と十分な業務経験を有した照査技術者(保有資格・経験年数・実績など)の配置	・仕様書による指示項目の実装 ・想定する体制(当該業務のみに専任するか、その他業務と照査技術者業務を兼務するか)	当該業務に専任する場合や実績豊富なほど高得点	4	
			ウ ハザードマップ及びGISの専門知識と十分な業務経験を有した担当者(経験年数・実績など)の配置	・業務にあたる担当者の人数	業務を円滑かつ着実に遂行できる体制なほど高得点	5	
		3 スケジュールの妥当性	導入から運用までのスケジュールについての提案。	・業務手順や工程が具体的に明記され、実現性があるものとなっているか。 ・失格:実現性なし	無理のない工程であるかどうか	5	
	小計						45
		分類	提案となる大項目	提案課題	採点基準		配点
D 提案内容	1 デジタルハザードマップ等の構築に関する提案	ア デジタルハザードマップの特徴	・現行の印刷版「津島市防災ハザードマップ(R3.3発行)」に比べ、シンプルでわかりやすい構成となっているか。 ・「住所検索」の結果は、縮尺2500分の1以上の地図で表示するとともに、検索した位置にカーソルが移動するようになっているか。			10	
		イ デジタルハザードマップの印刷	・印刷版のハザードマップに近いレイアウトでの印刷が可能か。 ・小学校区ごと、また任意の範囲での印刷が可能か。 ・ハザードに加え、有益な追加情報(啓発記事など)を同時に掲載して印刷することが可能か。			5	
		ウ デジタルハザードマップの機能及び操作性	・仕様書に定める機能が実装されているか。 ・緊急情報の掲載が容易であるか。また、利用者が一目で緊急情報を覚知できるよう画面の表示方法に工夫がされているか。 ・動作のレスポンスが早く、利用者がストレスなくハザードを確認することが可能か。 ・操作に不慣れなユーザーでも直感的に操作しやすいものであるか。			5	

別表 デジタルハザードマップ公開サービス業務委託に係る公募型プロポーザル評価項目

2 次 審 査		エ デジタルハザードマップのデザイン性	・外国人でも理解できるよう、アイコンやガイドが外国語対応されているか。特に、仕様書に定める4言語(日本語、英語、中国語、韓国語)はもとより、より多くの外国語対応が可能かどうか。	15
		オ サポート体制	・運用開始後の保守支援体制は充分か。 ・クラウドサーバーのセキュリティ、不正アクセス発生時等の対応や緊急時における迅速な対応(目安60分以内の対応)が期待できるか。 ・災害時にも的確に稼働するよう設計されているか。	15
		カ 拡張性・独自提案	・市に有益な独自の提案があるか。 ・災害想定追加・見直しが見直しが容易かつ安価に反映できるか。 ・今後の運用方法に応じて、当該システムを拡張できるカスタマイズに関する提案があるか。	10
	2 印刷版ハザードマップの更新及び印刷に関する提案	ア 印刷版ハザードマップの特徴	・仕様書に定める項目を網羅したハザードマップであるか。 ・災害の種類に不足はないか。 ・災害ごとの被害の特徴や事前の備えが分かりやすく説明されているか。 ・危険度(レベル)やフェーズに応じた避難行動が分かりやすく説明されているか。	10
		イ 印刷版ハザードマップのデザイン性	・年代を問わず、誰が見てもわかりやすくなるよう、イラストを交えるなど、工夫の凝らされたデザインになっているか。 ・ユニバーサルデザインが優先的に採用されているか。	10
		ウ 啓発方法	・用語の説明や災害ごとの対処方法などハンドブックとして常に身近に保管しておきたいような内容が掲載されているか。	10
		エ 独自性	・仕様書に定める以上に有効な提案があるか。 ・必要最小限のページ構成か(ページ数の圧縮の提案)。 ・必要な情報がわかりやすくコンパクトにまとめられているか。	10
	小計			
分類	二次審査評価項目	評価の視点・基準		配点
E プレゼンテーション	1 取組姿勢	ア 業務に対する熱意、誠実さ、積極性等が感じられること。		5
小計				5
合計得点				150